

事業所名

多機能型事業所 かざぐるま

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024年

11月

21日

法人(事業所)理念		「太陽が明るく光り輝くように、一人一人が秘めている無限の可能性を育み、宝を探すかのように成長の道筋に光を注ぐお手伝いをする。」 をかかげ、達成感や自己肯定感を目的とした支援を目指して行っております。											
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん褒めて、子どもの「できた」を大切にします。 ・子どもに寄り添い、個性を大切にします ・あせらず、のびのびできる環境を大切にします。 											
営業時間		9時	30分	18時	00分	送迎実施の有無	あり	なし					
		支援内容							工作(制作)	SST	ビジョントレーニング	運動あそび	感覚遊び
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態のチェック(毎日の検温や、状態観察)を行います。 ・手洗いうがいなどを行い、感染予防に努めます。 ・基本的な生活スキル(睡眠・清潔保持・食事・排泄・更衣・入浴・整容など)が獲得できるように支援していきます。 ・健康的な生活の基本となる食を営む力を育成し、楽しく食事をすることができるよう、畑仕事やクッキング、口腔機能訓練などを行っていきます。必要に応じて、箸などの道具操作練習や、自具、姿勢保持に関する支援も行っていきます。 ・社会生活が営めるように、社会的訓練(公共施設・交通機関の利用、買い物などの金銭管理の練習など)を行っていきます。 ・特性に配慮した空間作りにも、時間や空間を本人にわかりやすく提示していきます。 							○	○		○	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して基本的な運動能力の獲得を図り、姿勢保持や生活動作の獲得につなげていきます。また必要に応じて姿勢保持装置や補助具などの活用を検討していきます。 ・関節拘縮や変形の予防に努め、ポジショニングなど検討していきます。 ・自力での移動能力向上のため、歩行器、車いすなどの歩行補助具の使用や歩行の練習を行っていきます。 ・感覚あそびを通して、五感(視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有覚)の発達を促していきます。 ・感覚過敏や鈍麻などの感覚の偏りを把握し、本人に合った環境調整などの支援を行っていきます。必要に応じてイヤーマフや補聴器の使用などを検討していきます。 							○		○	○	○
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・物の数や大きさ、形、色、音、時間の認識など、遊びを通してその変化の様子や違いについて学ぶ支援を行います。 ・空間認知能力を高めることで、道具の操作性や学習・運動能力の向上、社会生活に必要な認識を広げていけるように支援していきます。 ・感覚・認知の偏りやコミュニケーション障害などの特性に配慮することで行動障害を予防し、適切な行動へ対応できるように支援していきます。 							○		○	○	○
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・物と言葉のマッチングなどを行うことで、物事の理解・イメージ力の向上を図っていきます。また語彙力を高めるような関わりを行うことで、自発語を促す支援を行っていきます。 ・必要に応じて絵カードやモデリングなどの視覚的支援を行うことで、相手の意図を理解したり、自分の意思を表現することができるように支援していきます。 ・ジェスチャーや指差し、サインなど非言語でのコミュニケーション能力を高め、表現方法の拡大に努めていきます。 ・発達の特性に応じて読み書き能力の向上のための支援を行っていきます。 ・手話や展示・音声、触覚など多様なコミュニケーション手段を活用し、意思伝達できるように支援していきます。 							○	○		○	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとの信頼関係を築くことで、周囲の人との安定した関係を形成するための支援を行っていきます。 ・遊びを通して人間関係の形成を学んでいきます。 ・平行遊びから協同遊びへ、遊びの発展を通して社会性の発展につなげていきます。 ・自分の行動や思考の特性を理解し、気持ちのコントロールができるように支援していきます。 ・集団(社会参加)に必要なルールや手順を理解し、参加ができるように支援していきます。 								○		○	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの相談に対する適切な助言等を行い、必要に応じて学校や保育園等とも合同で会議を設け、対応を一律にするなどの機会を整えます ・障害の特性に配慮した家庭環境の整備などを訪問や面談を通して助言して行きます 					移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ等への移行支援及び併行利用先(保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校)との情報共有を密にし、連携を図ります ・ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備を一緒に検討します ・地域の公園や児童館での同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくりを支援します 						
地域支援・地域連携	役場、社協相談員や民生委員、児童委員等と連携を図り必要な情報共有を行っています。地域の障害児通所支援事業所との連携や、将来を見据えて成人の事業所とのつながり作りを行っています					職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員研修 ・スキルアップの為の研修 ・法定研修 ・防災に関する研修 ・ケース検討会 等々 						
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の農家さんに協力いただいた体験活動(栗拾い・芋掘り) ・近隣の高齢者施設への訪問や合同イベント ・お花見(桜・ひまわり・コスモス・紅葉ほか)、お節句や夏祭り、ハロウィンなどの季節行事 												